

ゴールボール体験

3月4日（木）の5・6時間目にゴールボール体験を行いました。「夢をもつことや目標に向かって努力することの素晴らしさを考える」、「アスリートとの交流をとおしてスポーツを楽しむ心を養う」、「共生社会の実現に向けて障がい者理解を深める」ことを目的とした授業です。今回は、2012年ロンドンパラリンピック「ゴールボール」金メダリストの安達阿記子選手にお越しいただきました。

<ゴールボールとは>

ゴールボールは、1チーム3名で3対3の対戦形式で行われ、試合時間は前半・後半各12分の計24分です。アイシェードをしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点とする視覚障がい者の球技で、障がい者スポーツの一つです。

<ゴールボール体験の授業より>

講師の安達選手には、ゴールボールがどのようなスポーツなのか、安達選手のゴールボールとの出会い、金メダルを獲得した2012年ロンドンパラリンピックでのエピソード等についてお話していただきました。6時間目にはゴールボールを体験しました。実際の試合に近付けるためにアイシェードをして競技しました。最初は慣れずに戸惑いましたが、コツをつかんで上手にプレーをする生徒もいました。最後は、実際に安達選手にボールを投げていただきました。

獲得した金メダルと
実際に使用したユニフォーム

<体験の様子>



<< 生徒感想より >>

- ・「やらないより、やって後悔するほうがいい。」という言葉が心に残っています。私も受験に向けて、苦手な勉強も全力でやってみようと思いました。
- ・安達さんのプレーを見ている分には簡単そうに見えるけれど、実際に体験してみて、目が見えない状態でプレーする難しさや安達さんのすごさを改めて感じました。